



武蔵石材新聞



厳しい暑さが続く8月、お変わりございませんか。
 先日、八柱霊園に洋型墓石が完成しました。
 お施主様が来店されたのが春頃、そこからいろ
 いろな写真やイメージを参考に設計を進めてい
 きました。「黒系にしたいけれど、重い感じには
 ならないように・・・」というご希望でした。黒系
 の石はインド産のY-1、グレー系の石はカンボジア

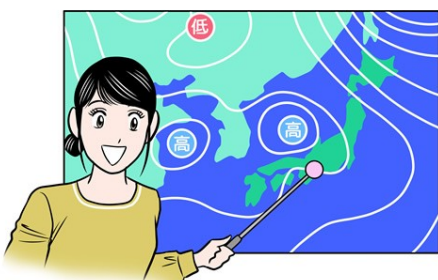
産654の粗目を使用しました。日に当たるとグレーの
 部分が明るく見え、たいへん喜んでいただきました。
 さて、お盆から秋のお彼岸にかけてお参りの機会も多
 い時期ですが、お墓のことで何か気になることがござ
 いましたら、いつでもお気軽にお声かけください。



知っていますか? 8月の記念日

●8月28日は「気象予報士の日」です

1994年のこの日に、第1回の気象予報士国家試験
 が行われました。気象庁以外の方が気象予報を行
 う際、その予報の技術水準や信頼性を担保するた
 めの技能試験として創設され、全国ワカ所で実施され



ました。平均の合格
 率は例年約5%程
 度と、とても難易度
 が高いことでも知ら
 れています。

■発行者: 有限会社 武蔵石材店

井岡 進 (いおかすすむ)

昭和48年12月 葛飾区新小岩生まれ
 小松小、日大一中、日大一高、立正大
 妻、娘(大1、高2、中3)の5人家族
 (父母も元気です!)

所属: 本田消防団、葛飾区法人会
 東京土建葛飾支部、新小岩商交会、
 小松通り会会長

※学生時代、イタリア料理店
 でバイトしていました。その経
 験で、今でもたまに家で
 ピザを焼く(魚焼きグリルを
 使って!)のが趣味です。



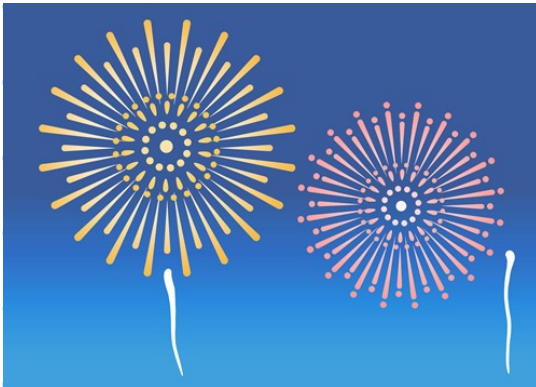
(有) 武蔵石材店 TEL: 03-3651-0234
 東京都葛飾区新小岩2-16-10



～お墓・仏事の三ニ知識～



★ 日本の夏の夜を彩る「花火」



日本の夏の風物詩「花火」。花火の起源は古代中国の狼煙(のろし)にあるといわれ、日本には後の火薬の発明を経て武器として伝わりました。現代まで続く花火大会の始まりは、江戸時代の享保年間に、飢饉や疫病の死者の供養・悪疫退散のために水神祭が催

され、花火が打ち上げられたことにあるとも言われています。その後、華やかなことが好きな江戸っ子たちにも受け入れられて広まっていきました。現在も全国各地で花火大会が行われていますが、そのはじまりとなった花火のように、鎮魂や慰霊の意味が込められた大会もあります。今年は花火の美しさを楽しむだけでなく、故人への思いや平和を願いながら、夜空を見上げてみてはいかがでしょうか？

仏事クイズ Q&A

知っているようで知らない仏事のことや言葉の意味をクイズで確かめてみましょう。



鳥取県三朝町にある三佛寺は、標高900mの三徳山に境内があります。その奥院は垂直に切り立った絶壁のくぼみに建てられていますが、その名称はなんでしょう？

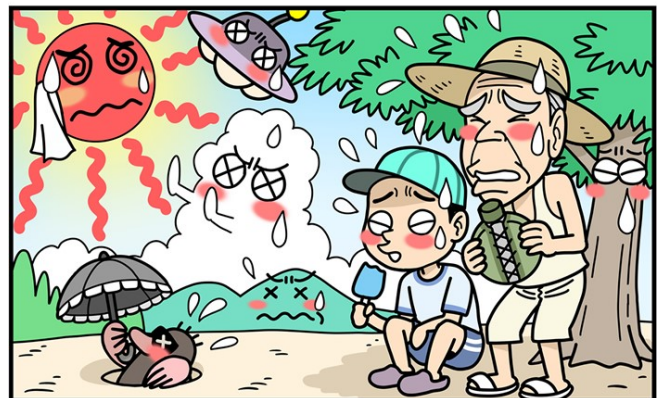
- ① 投入堂(なげいれどう)
- ② 腰掛堂(こしかけどう)
- ③ 岩屋堂(いわやどう)



行者が法力でお堂を手のひらに乗るほど小さくして、岩窟に納めたと言われていいます。



まちがいさがし



上下の絵に間違いが3個あります。探してみましょう。

※クイズとまちがいさがしの正解は、表面の一番下の部分をご覧ください。

ご縁を大切にしたいとの思いで、発行しています。